

I. 『遼寧沿海経済帯発展計画』の採択

7月1日国務院常務会議で『遼寧沿海経済帯発展計画』が採択された。同会議で、大連・丹東・錦州・營口・盤錦・葫蘆島などの都市（いわゆる『5点』）を含めた遼寧省沿海経済地帯の発展は、東北旧工業基地の振興や環渤海湾地域の沿海経済対外開放に大きな意義を持つとして、国家戦略に組み入れられた（これまでの経緯は図1参照）。本計画は、遼寧省による『5点1線』経済帯発展計画を更に拡大し、2020年までに産業構造、都市開発、社会事業、インフラ、対外開放、資源環境、社会保障などの分野で発展させる方針である。

図1 東北地区経済発展計画の歩み

時 期	政 策	内容・目的
1978年 1980～90年 2000年	改革開放政策 沿岸都市の開放 西部大開発	中国共産党11期3中全会で決議 鄧小平『先富論』を根拠 沿岸部に対しての内陸部の開発
03年10月	東北振興政策	経済的に立ち遅れた東北地区の再開発（国務院） 国有企業改革、社会保障制度改革、産業構造転換など
05年6月	対外開放拡大実施意見	東北振興政策の取組強化
06年1月	『5点1線』経済帯発展計画	国策『東北振興政策』をベースにした遼寧省の重点開発計画、李克強中国共産党遼寧省委員会書記（当時・現国務院副首相）の発案
07年8月	東北地区振興計画	沿海経済帯（「龍の頭」大連と『5点1線』）の臨港産業、高技術産業、現代サービス業を中心に、国内一流で特色・競争力のある産業集合帯にする
09年7月	遼寧沿海経済帯発展計画	『5点1線』経済帯発展計画を国家経済発展計画に格上げ

II. 『5点1線』経済帯発展計画のおさらい

『5点』とは渤海と黄海に面した次の5ヵ所で、省級経済技術開発区とし、進出企業に対し税金や管理費用の減免、利子補給や補助金の支給など主に資金面での優遇政策がある。1線とはこの5点を1本の沿海高速道路（全長1,443km）で結ぶもの。この沿海高速道路は今年9月全面開通する予定。

- ①大連長興島臨港工業区域 [大連長興島]
- ②遼寧（營口）沿海産業基地・盤錦船舶修造産業園区（07年に追加） [營口、盤錦]
- ③遼西錦州湾沿海経済区域（錦州西海工業区域、葫蘆島北港工業区） [錦州、葫蘆島]
- ④遼寧丹東産業園区 [丹東]
- ⑤大連花園口工業園区 [大連莊河]

大連、瀋陽は90年代前半までに国家級経済技術開発区を設置し、両市で遼寧省のGDPの半分以上を占めるなど同省の経済発展の両輪となっている。同省としては、両市以外の地域で経済的レベルの底上げを図る必要があり、中でも沿岸港湾を活用する考えに至った。

『5点1線』

から『遼寧沿海経済帯』へ

●富山県大連事務所 副所長 田村 昌邦

その方法は「以点帯面」という言葉で説明できる。1ヵ所の優れた成績をもって全地区の向上を促進するという意味であるが、線でつながれた5ヵ所の「点」を増やし「帯（沿海経済帯）」にし、更には「面（遼寧省、東北地区）」に拡大させていくことを目指すものである（この戦術は古くは毛沢東軍事理論につながる）。

遼寧省対外開放工作領導小組弁公室によると、09年3月までの『5点1線』の調印済投資案件は756件、投資総額4,375.9億元、うち外資133.8億米ドル、地区生産総額306.2億元に達するという。

Ⅲ. 『遼寧沿海経済帯発展計画』について

本計画では、『5点』を7地区（Ⅲ②③を分割）とし、更に22地区を新たに選定、合計29地区となる。うち大連は14地区指定されている（図2参照）。なお全文はまだ発表されていない。

図2 遼寧沿海経済帯発展計画 沿海重点発展と支持区域名簿

	開発区名	都市
1	大連長興島臨港工業区	大連市
2	遼寧營口沿海産業基地	營口市
3	盤錦船舶工業基地	盤錦市
4	錦州西海工業区	錦州市
5	葫芦島北港工業区	葫芦島市
6	丹東産業園区	丹東市
7	大連花園口工業園区	大連市
8	大連経済技術開発区核心産業区	大連市
9	大連保稅区主功能区	大連市
10	營口经济技术開發区	營口市
11	大連旅順南路軟件産業帯	大連市
12	大連海湾工業区	大連市
13	大連旅順経済開發区	大連市
14	大連湾臨海裝備製造業聚集区及配套区	大連市
15	大連金渤海岸現代服務業發展区	大連市
16	大連松木島化工区	大連市
17	遼寧船舶工業区	盤錦市
18	營口仙人島能源化工区	營口市
19	營口大石橋有色金属工業園	營口市
20	盤錦石油裝備製造基地	盤錦市
21	錦州港	錦州市
22	葫芦島緩中濱海经济区	葫芦島市
23	錦州娘娘官臨港産業区	錦州市
24	錦州凌海大有臨海経済産業区	錦州市
25	興城臨海産業区	葫芦島市
26	大連莊河臨港经济区	大連市
27	大連金州登沙河新区	大連市
28	大連皮楊中心産業区	大連市
29	大連長山群島海洋生態经济区	大連市

(内訳)

都市	5点1線計画	新計画
大連市	2	14
丹東市	1	1
錦州市	1	4
營口市	1	4
盤錦市	1	3
葫芦島市	1	3
合計	7	29

(注) 1～7は『5点1線』対象開發区
新計画になって大連市が急増（2→14開發区）→
大連市の牽引力が期待されている。

(出所) 遼寧省対外貿易経済合作庁

本計画の位置キーワードとして「1核、1軸、両翼」が挙げられる。「核（心）」は大連、「（主）軸」は大連＝大連長興島＝營口＝盤錦のライン。「両翼」は盤錦＝錦州＝葫芦島と大連＝大連荘河＝丹東を指す。「核心の引上げ、主軸の強化、両翼の拡大」を謳い、『5点1線』では外されていた大連は「核」、「龍の頭」とした牽引役が期待されている。

産業展開としては、主として先進的製造業（装備製造業、石油化学工業、電子情報処理など）、現代サービス業（物流、情報サービス業、商業貿易流通業など）、現代農業（食糧生産基地、食品加工基地など）に重点を置く。

本計画の目標としては、

①2012年までに基本的な小康社会（多少は豊かさを実感できる社会水準）を実現する

期間中、地区GDP成長率と財政収入増加率が全国沿海地区平均を上回る

地区の一人当たりGDP50千元超（07年の大連市並み）とする、など

②2020年までにより高いレベルの小康社会を実現する

前述したように李克強副首相が提唱した『5点1線』経済帯発展計画を国家級経済発展計画に格上げできたのは、同副首相の成果ともいえよう。また7月6～8日習近平国家副主席が大連、營口、鞍山、瀋陽などを早速視察し、本計画の支持を訴えている。李克強副首相、習近平副主席ら次期指導者（第5世代）候補のバックアップを得た本計画が、今後国家レベルで積極的に推進されていくと考えられる（なお、国務院は、本計画のほかに福建、江蘇など4カ所の経済発展計画を批准している（2009年7月30日現在）。）

参考 「五点一線」位置図



(出典) 鳳凰網 財經